



◆事業概要

1 中学校区の現状と課題

磯部中学校区の子どもたちの学力状況や生活実態を見ると、学習意欲を持つことができず学力的に厳しい状況にある子どもや、学力の課題と合わせて生活面でも厳しい状況にある子どもがいます。安心できる環境が保障されない中で育つ子どもたちの自尊感情は低く、そのことが学習意欲の低さや、将来の展望を持ってないことにつながっていました。

このような現状に対しては、一人ひとりの子どもが確かな学力を身につける取組が必要であるとともに、子どもたちが自尊感情を高め、自らの将来のイメージを明確に描き、さらにそれに向かって着実に力をつけていくことを保障し支援する取組や環境づくりが必要であると考えました。

2 課題解決のための主な取組

(1) 高校体験

県立水産高校の協力のもと、高校体験を行いました。参加した子どもたちは、普段見せないほどの集中力や積極性で、目を輝かせ主体的に干物づくりやスキューバダイビング等の活動に参加していました。

参加した子どもたちの多くは、体験の途中から、「どうしたらこの高校に入れるのか」「どうしたら先輩たちのようになれるのか」等、口々に高校生や引率教員に感想や質問を投げかけていました。子どもたちにとって、自らの進路や将来の展望について考える大変貴重な経験となりました。



干物づくり体験の様子

(2) 子ども出会い教室

子どもたちが将来の展望や夢を持ったり、これからの生き方を考えたりする場として、様々な経験をもつ人と出会う「子ども出会い教室」を開催しました。

小学生対象の出会い教室では、講師から「家族のことを見つめたり、故郷のことを考えたりすることをおして仲間とのつながりをつくってきたこと」「自分が中学校時代に勉強のことや進路のこと、親とのことで多くの葛藤があったこと」等を話してもらいました。

単にお話を聞くというだけでなく、講師と双方向のやりとりができたことで、子どもたちにとっては今後の生き方を考えるための貴重な出会いになりました。



子ども出会い教室の様子

◆実践を振り返って

子どもの居場所づくり→安心感→自信や意欲→学力の向上につながるという道筋において、子どもたちに自信や意欲を持たせるところまでの成果を上げることができました。

今後、さらに子どもたちにしっかりとした力をつけていくために、子どもを中心として学校・家庭・地域が一体となった取組をさらに進めていく必要があると考えています。